

## 第78回 日本公衆衛生学会 総会 (10月23~25日、高知市)の紹介

安田 誠史 JACR理事

第78回日本公衆衛生学会総会会長  
高知大学教育研究部



私が委員長を務めている本協議会学術委員会の活動については、本レター45号で紹介済みですので、本号では、私が学会長として、本年10月23日(水)から25日(金)にかけて、高知県高知市において、テーマ「実践と研究との協働の深化～マインドとコンピテンシー～」の下に開催する第78回日本公衆衛生学会総会を紹介します。

まず、この総会のテーマのねらいを説明します。人びとが健康、安全、安心に暮らすための基盤である公衆衛生を、実践活動の効果を評価しながら向上させるために、また、公衆衛生の領域で起こる多様な新課題を迅速に把握し、対応策を時宜を失することなく社会実装するために、実践と研究との協働cooperationは欠かせません。協働の深化のために、実践家と研究者とに、それぞれの立ち位置で大切にすべきマインド(問題認識と価値観に影響する志向)、そして磨きをかけるべきコンピテンシー(知識、技能、態度を統合して活用する能力)を整理していただく機会になればと考えています。

日本公衆衛生学会総会では、例年、がん登録従事者による一般演題発表に加え、がん登録運営の実務面での課題や登録資料の活用をテーマとするシンポジウムが行われます。本協議会からの出版物の展示もあります。これら、がん登録従事者が実務と研究での経験を交換し、ネットワークを拡げることに役立つ行事は、第78回総会でも行われます。

会場は、高知市の九反田地区と本町地区とに分散して配置されます。本町地区では、江戸時代からの天守と追手門が残る高知城が、九反田地区では、幕末の志士坂本龍馬の像が太平洋を臨む桂浜への移動の拠点になるはりまや橋が徒歩圏内です。高知県には、食のコンテストで常に上位にランクインする鰯のたたきと日本酒に代表される豊かな食材があります。第78回総会に参加登録いただき、高知の風土・食もお楽しみください。

### 第78回日本公衆衛生学会

<http://www.c-linkage.co.jp/jsph78/>



## 委員会報告 [教育研修]

大木 いずみ JACR副理事長

栃木県立がんセンター

杉山裕美 放射線影響研究所  
伊藤秀美 愛知県がんセンター  
寺本典弘 四国がんセンター  
海崎泰治 福井県立病院



教育研修委員会では会員のみなさまに少しでも役に立つ情報を共有するべく、がん登録の手引きを刊行、学術集会における実務者研修会の企画、総会時のがん登録実務功労者表彰等実施しています。また必要に応じて、国際研究へのデータ提出支援や情報提供も行っています。

がん登録に関わる、がん情報の収集、整理、データの集計からがん対策への活用、研究利用と日本がん登録協議会(JACR)の様々な委員会やがん登録担当者と関わりながら同じ目的に向かって活動しています。

がん情報収集という点では院内がん登録との連携が欠かせません。JACRでは院内がん登録への取り組みも含めて活動を展開していきます。特に教育研修委員会の病理医は病理のエキスパートであるとともにがん登録も熟知していますので、その視点からの支援となります。

ご意見やご要望がありましたらお寄せください。教育研修委員会は会員のみなさまとともによりよいがん登録を目指し、がん対策につなげる活動を推進したいと思います。

がん登録の手引き



表彰式の様子

